小学校６年　英語

かんちがいしやすい和製英語

年　　組

名前

私(わたし)たちはふだん，カタカナで表される言葉をたくさん使っています。その多くは英語の単語を表したものですが，中には日本で独自に作られた言葉（＝和製英語）があります。和製英語を英会話の中で使うと，意味が通じなかったり，意味を誤解(ごかい)されたりすることがあるので，注意しましょう。

かんちがいしやすい和製英語一覧(いちらん)

サラリーマン

✕ salaryman

◯ office worker
[オーふィス ワ〜カ]

salary（サラリー）は英語で「給料」という意味です。「給料をもらって働く人」というイメージから「サラリーマン」という言葉ができました。

アイドル

✕ idol

◯ pop idol
[パップ アイドゥる]

英語の“idol”は，本来「すうはいされる人物」という意味で，日本で使われているような「アイドル」という意味はありません。英語では pop idol や movie idol[ムーヴィ　アイドゥる] といった形で限定して使います。

テレビゲーム

✕ TV game

◯ video game
[ヴィディオウ ゲイム]

英語では「テレビゲーム」ではなく，「ビデオゲーム」と言います。また，テレビも television（テレビジョン）の略“TV”からできた言葉です。

テイクアウト

✕ take out

◯ take away
[テイク アウェイ]

店で食べ物を持ち帰るときは，“Take away.”または“To go.”[トゥー ゴウ]と言います。店内で食べる場合は“For here.”[ふォ　ヒア]と言いましょう。

英語として海外で使われている日本語

有名な言葉では，sushi（すし），anime（アニメ），manga（マンガ），otaku（オタク），karaoke（カラオケ）などがありますね。最近では，bento（弁当），dashi（だし），teriyaki（照り焼き），bonsai（ぼんさい）などもよく使われています。

クールジャパン(Cool Japan)として日本文化が海外で評価されているから，このような日本語がそのまま使われているのですね。